



魅力ある学校ホームページ



校長として学校運営をする際のマインドは、「過去をリスペクトし、未来に責任をもつ学校改革を行う」ということになります。しかし、今を知ってもらうためには？
そうです！学校ホームページの活用です。

みなさんは入学前に、「本校の特色を知る情報の入手先」はどこからでしたか？選択肢は、①オープンスクール ②学校ホームページ ③親 ④先輩・友だち ⑤中学校の先生 ⑥塾の先生 ⑦きょうだい 1つあげるとしたら何番かな？

おそらく、身近な人間からの話が一番の知る機会ではないかと思います。「②」は少ないのかなとも思います。

私は、3年前に本校に赴任して、「学校ホームページ」を見やすくリニューアルし、生徒保護者等々にワクワクし、かつ見やすいホームページにする工夫改善をしなくてはならないと思いました。実は、このことについては、前任校でもやっていました。なかなか学校に来ることができない保護者や卒業生、そして進路先として本校のことを考えている人たちにとってもいいことだと思うからです。また、本校生徒・職員の活躍もスピード感をもって紹介できます。本校職員と協力し、2年前にリニューアルしました。

前任校の話ですが、コロナ禍で2か月間学校が一斉休校となった際、私はできる限り先生方と打ち合わせをしながら、生徒が学校に戻ってきたときの準備を進めなくてはならないときがありました（出勤できる人数は、職員数の2割以内というルールあり）。私は、生徒のこともあるのですが、この休業期間の先生方のマインドが一番大切だと考えていました。先生方の働きがいやどう高めるかということでした。

そんなとき、先生方のがんばる力の一番の特効薬は、やはり生徒の姿を見るということにあらためて気付かされた瞬間がありました。それは、休校中の生徒が、学習課題を校門まで取りに来たときです。その生徒たちを見た時、先生方はそれまでと違い、声が弾み、声が大きく、表情が明るくなったのです。その後の職員室でのおしゃべりも止まらない（笑）。生徒と関わることで、私たち教師はこんなにもエネルギーをもらっているんだとあらためて思いました。

しかしその後も、しばらくは学校で「密」をつくらないために、一斉に集まることができませんでした。そこで私は、朝と夕に『今日の学校』というメールを先生方に対して毎日送信することを決めました。出勤の先生方の活動の様子をたっぷりの写真入りで、通信を作成し、配信していました。先生方全員それを見ないと一日が終わらないといった感じにまでなっていました。もちろん仕事上の連絡もあります。しかし、生徒においても、私たち大人でも、学校を見える化することは、安心感になり、相手意識の醸成にもなり、思いやりの気持ちをつくり、関係性の質の向上につながると実感しました。

そもそも「魅力ある学校HP」をつくるには、日常の生徒・教師の積極的な活動が必要になります。生徒のみなさんの活動や学校の風景的なことをこれからも紹介していきたいと思っています。

学校HPは、広報事務の森田さんがアップしてくれています。その森田さんが、本年度より「校長研修だより」のアクセス数の月別データをとってくれています。ちょっとプレッシャーもありますが（笑）、継続してみようと二人で話しています。この結果が、多いのか少ないのかわかりません。いや、きっと少ないと思いますが、保護者の皆様お時間のあるときにどうぞご覧ください。

2023年HP 学校長メッセージ アクセス数	
4月	494
5月	482
6月	550
7月	522
8月	379
9月	443
10月	551

(学校長 重枝 一郎)